

学校評価だより

平成31年3月19日

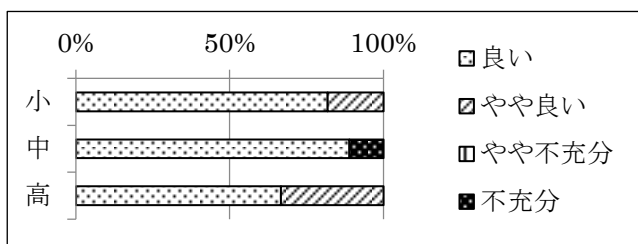
福島県立猪苗代支援学校

例年になく雪が少なくおだやかな冬も過ぎ、春の日差しが心地よい頃となりました。児童生徒たちは、新年度の学校生活や卒業後の新たな生活に期待をふくらませています。

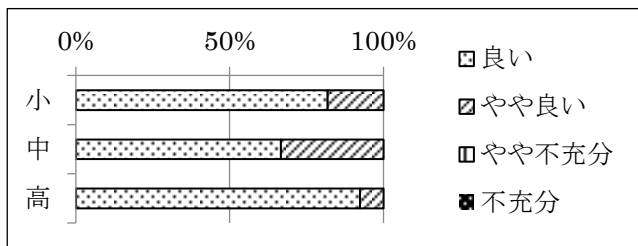
今年度も、学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。アンケートに回答いただいた結果は、以下のとおりです。どうぞお気づきのことがあれば、遠慮なく学校にお伝えくださるようお願いいたします。

I 平成30年度 学校評価保護者アンケートの結果

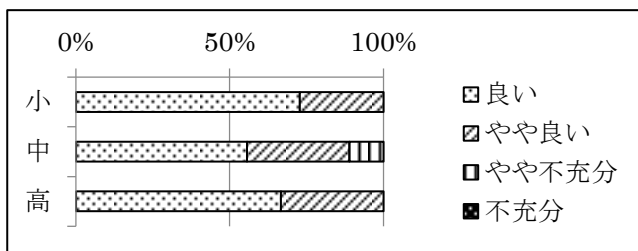
1 お子さんは、毎日、楽しく学校へ行っていますか。



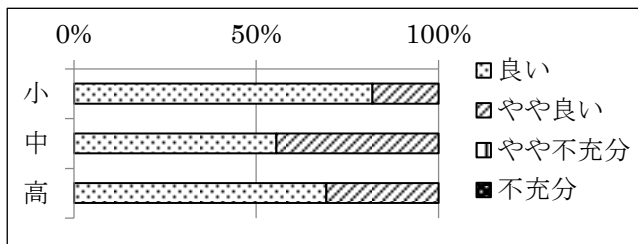
2 学校は、児童生徒に合った学習指導の計画をつくり、学習の成果を適切に保護者に説明していますか。



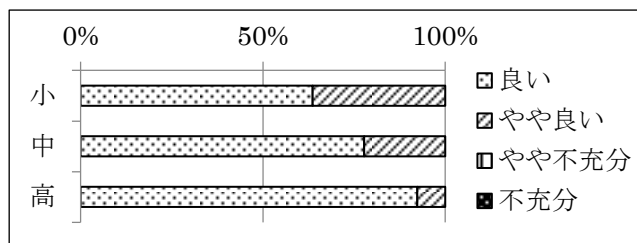
3 学校は、児童生徒が将来の生活で必要になることを取り上げ、授業を行っていると思われませんか。



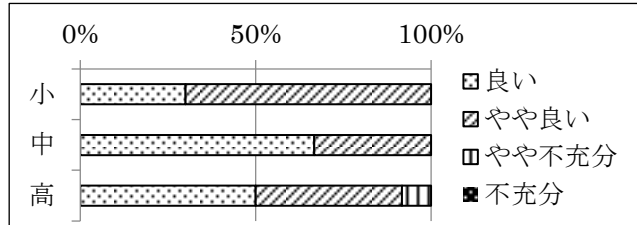
4 学校は、児童生徒がお互いの良さを認め合い、共に高めあえるように指導をしていると思われませんか。



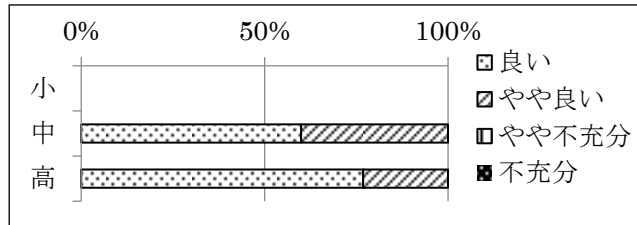
5 学校は、児童生徒、保護者と力を合わせて、創立40周年を記念した取り組みを行っていると思われませんか。



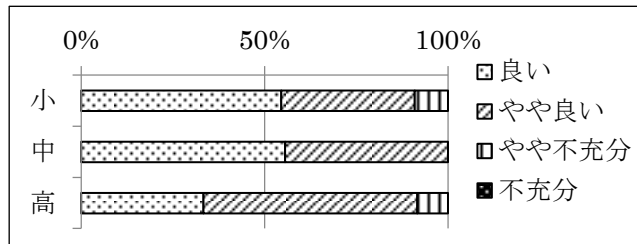
6 学校は、進路情報を分かりやすくお知らせし、よく話を聞きながら進路相談を行っていると思われませんか。



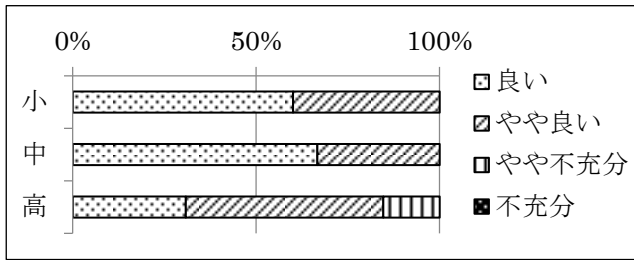
7 学校は、生徒に合わせた内容で、校内実習や校外実習を行っていると思われませんか。(中学部、高等部の保護者のみ回答)



8 学校は、地域の幼稚園や小、中学校からの相談をよく受けたり、学校の教育活動をわかりやすく伝えたりしていると思われませんか。

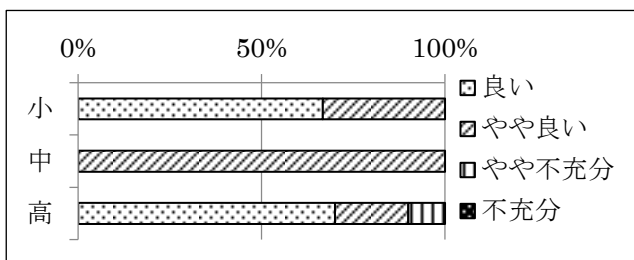


9 学校は、いなっ子セミナーなどを行い、地域の幼稚園や小中学校の教員と一緒に学び、よい授業を行うことができていると思われませんか。

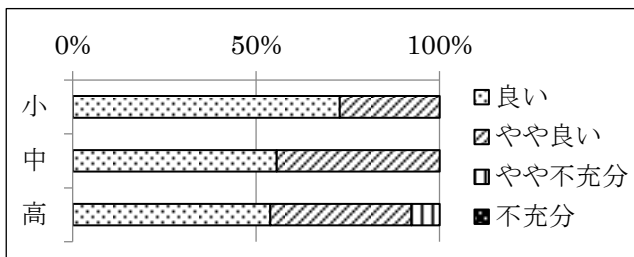


10 学校は、ばんだい荘と協力して、児童生徒の健康の管理や安全な生活のため取り組んでいると思われませんか。

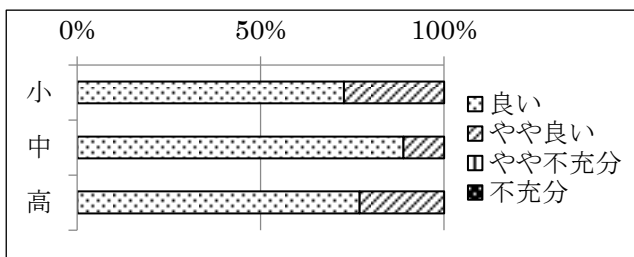
(ばんだい荘生の保護者のみ回答)



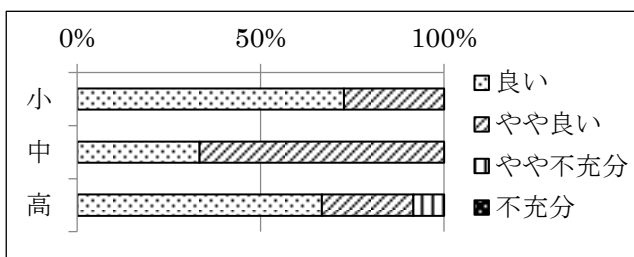
11 学校は、保護者やばんだい荘と協力して、児童生徒の安全を守ったり、問題の解決を進めたりしていると思われませんか。



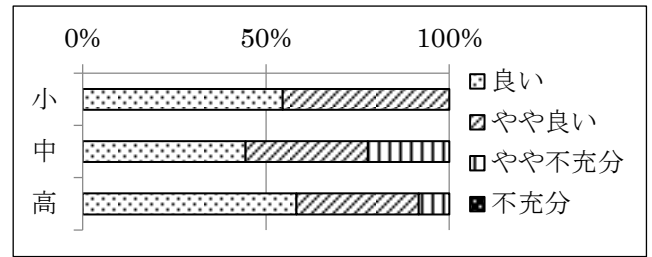
12 学校は、いじめを許さない姿勢で指導に取り組んでいると思われませんか。



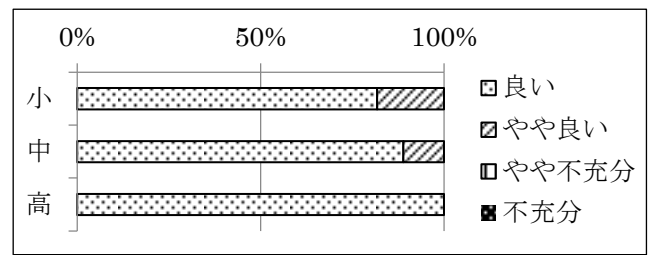
13 学校は、ばんだい荘や地域生活支援センターなどと協力しながら、教育相談や支援に関する話し合いを行っていると思われませんか。



14 学校は、偏食や肥満の防止に向けた指導を行っていると思われませんか。



15 学校は、児童生徒の命を守ることを重視して、避難訓練や防災教育を熱心に行っていると思われませんか。



アンケートの中でいただいたご意見

- 避難訓練の時の引き渡し訓練は、1年に1回で良いのではないかと。
- 学習評価について、個別懇談の際に、さら踏み込んだ話ができると良い。
- 教室等でのハサミなどの危険なものの管理をさらに慎重にしてほしい。
- 防災教育として、非常食の試食などの機会も作ってはどうか。



次年度に改善していくこと

- 保護者の方への引き渡し訓練は、10月に行い、年1回とします。
- 個別懇談では個別の指導計画をもとに、お子さんの学習の様子や成果、今後、伸びてほしいこと、学校と保護者と共通に指導することなどを丁寧にお伝えします。
- 学校の中や周辺、教室などの学習場所における危険な物については、児童生徒が手に取ることがないように厳重に管理します。
- 防災非常食の購入を進めるとともに、現在備蓄している非常食を試食する機会をつくり、児童生徒の防災意識を高めるようにします。



Ⅱ アンケート結果を受けて次年度に取り組むこと

アンケートでは、全体として『良い』、『やや良い』の回答が多くよせられました。このことから、保護者の多くの方が、「よく取り組んでいる。」と評価していただいていることがわかります。

同時に、「やや不十分」と回答されたことについては、学校に対するご要望ととらえ、次の4つのことを次年度の課題とし、改善に向けて取り組みます。

課題となったこと

○ ばんだい荘との連携

ばんだい荘の先生方からは、学校とばんだい荘が、もっと連携していくことが望ましいという意見がありました。

○ 児童生徒一人一人に応じた進路情報を伝えていくこと

小学部、中学部の保護者からも小中の段階から、高等部卒業後の進路について、より情報がほしいという要望があります。



○ 健康に関する指導をさらに行うこと

食育や肥満防止など、健康に関する学校の取り組みを知らせてほしいという要望があります。



○ 他の学校の特別支援学級や幼稚園、保育所の支援をさらに行うこと

他校への支援の様子が分かりにくいという意見があります。

改善に向けて取り組むこと

○ 学校とばんだい荘で行っている連絡協議会ではばんだい荘に伝えることと、学級担任等から朝の引き継ぎなどでばんだい荘の先生方に伝えることが同じであるように、伝える内容をしっかりと確認し連携を強めていきます。

○ 高等部卒業後の進路先や福祉制度、進路指導として学校で行うことなどをまとめた『進路のてびき』を、より保護者の方々に分かりやすいように見直しました。

今後も「進路のてびき」を活用し、保護者の方の意向をお聞きしながら、適切な情報をお伝えできるようにします。

○ 保護者の職場見学会や進路セミナーなどの勉強会を、保護者の方々の興味や関心に合わせて企画し、より多くの方々に参加いただけるようにします。

○ 児童生徒の健康課題をしっかりと把握し、1年間の健康教育の中で「何を」、「どのように重点的に取り組む」のか、しっかりと絞り込み、保護者の方々にご協力いただけるようにお伝えします。

○ 福島県の学校全体でも、児童生徒の運動不足が大きな問題です。適切な運動と食事を通して肥満防止を図れるように指導に取り組めます。

○ 地域支援センターで発行している広報『はあとふる』を保護者及びばんだい荘へ年3回お配りし、地域の小中学校の特別支援教育の様子や本校の支援の状況をより詳しくお伝えします。

Ⅲ 学校評議員の方々の評価

本校では、学校の運営や教育活動の改善を進めるために、次の方々に学校評議員をお願いし、学校参観を通して、様々なご意見をいただきました。

遠藤 光昭さん	猪苗代町心身障がい児（者）手をつなぐ親の会会長
阿部 重考さん	元小学校教諭（元猪苗代町児童委員）
青柳百合子さん	福島県ばんだい荘あおば兼ばんだい荘わかば園長
鈴木 宣夫さん	前不動産区区長
渡部 朝美さん	P T A会長

学校評議員会を、5月、11月、2月の年3回にわたって実施しました。評議員の方々から、主に、次のような意見をいただきました。



本校の良いところや改善が必要なところ

○良いところ、●改善が必要なところ

- 児童生徒が、生き生きと学んでいた。
- 児童生徒と教師の信頼関係ができていることが分かる。児童生徒が落ち着いて授業を受けており、教師の話をよく聞き、児童生徒どうしで協力して学習に取り組んでいることが分かる。
- 児童生徒が、自分の気持ちや考えを言葉や体でしっかりと表現し、自信をもって学習をし、生活していることが分かる。小学部の入学のころから知っている児童生徒については、その成長がよく分かり感心した。
- 学校全体で、児童生徒一人一人の特性に合わせた分かりやすい指導、分かりやすい教材、見て分かる学習環境づくりに努めていて良い。
- 豆まきなどの季節に合わせた授業では、児童どうしで体をたくさん動かし、楽しみながら運動できている。習字は、一人一人に合わせた指導が行われており、児童生徒の画一的ではない一人一人の隠された力を感じる。
- 家庭科などの生活に必要な力を高める学習では、ぞうきん縫いを通して、学年に応じて技術を高める指導がされており、積み上げていく学習の成果が分かる。学校全体で、児童生徒の年齢に応じた授業内容が工夫されて行われていて良い。
- 避難訓練や引き渡し訓練など、安全に関する学習は大切であり、学校としてよく取り組んでいて良い。今後も継続してほしい。

- 地域の小中学校の教員から気軽に相談できる学校として、これからも教育活動の広報や学校支援に取り組んでほしい。
- 翁島地区にある学校として、教員も児童生徒も地域に積極的にかかわり、地域への協力や日頃のあいさつなども大切に取り組んでほしい。

